

取扱説明書

肩掛噴霧機

2型・6型
6D型・6D型ワン皮式

ASB 株式会社 麻場
〒381-8530 長野県長野市北長池1443-2
☎026(244)1317(代)

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には安全に使用していただくための要点を記してありますので、
ご使用前に必ずよくお読みになり正しくご使用ください。お読みにな
った後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚
損したり紛失した場合はお買い上げの販売店にご注文いただき大切に
保管してください。

本書に記載した△の表示のある注意事項や機械に貼られた
△の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる
重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。
なお、△の表示のあるラベルが汚損したり、はがれた場合は
お買い上げの販売店にご注文いただき必ず所定の位置にお貼
りください。

用途

- ・庭木の殺虫・消毒に
- ・園芸用・観賞用植物への
散水、殺虫、殺菌剤の
散布に
- ・野菜、果実、草花等
へのホルモン剤の散布に

安全のために必ずお守りください

作業の前に

- ・次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
 - ・酒気をおびた者
 - ・過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者
 - ・妊娠中の者
 - ・満15歳未満の者
 - ・負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
- ・作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホース、肩掛バンドに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
- ・この製品を他人に貸与または譲渡する場合は必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
- ・けがをする恐れがありますので、タンク内には手を入れしないでください。

農薬の取り扱い

- ・防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
- ・やけど、火災の恐れがありますので強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は絶対に使用しないでください。
- ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。
- ・農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
- ・誤使用、誤飲の危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。
- ・農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は薬害のない方法で処分してください。

作業中

- ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- ・水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- ・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- ・薬液を入れた状態でタンクを傾けると、薬液が漏れる場合があります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- ・コックを停止の状態が必要以上に加圧しないでください。
- ・加圧した状態で長時間放置しないでください。
- ・作業中に噴出口を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態とし、噴出口部を取り外してから行ってください。

作業後と保管

- ・空気室～ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがあります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態として、空気室～ホース内の圧力を抜いてください。
- ・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。
- ・余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- ・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・前回使用した薬液がタンク、ホース、噴出口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を十分に洗い流してください。また、タンク内に残った薬液はタンクを腐食させ薬液が漏れる原因にもなりますので、洗浄作業は充分行ってください。

仕様

商品名	2型	6型	6D型	6D型ワン皮式
本体寸法（高さ×幅×奥行）	355mm×210mm×120mm	440mm×270mm×150mm		
タンク容量	4ℓ	9ℓ		
ノズルの長さ	約32cm	約49cm		
吐出ホースの長さ	0.9m	1.0m		
主要部材質	タンク：ステンレス ポンプ部：黄銅 その他：黄銅、軟質塩化ビニル、ポリプロピレン、ポリエチレン			

使用方法

1. 部品の取り付け

分解図を参照して肩掛バンド、ホース、握り、コック、ノズルパイプ、エルボ、噴口を組み付けます。
各接続部のネジは、充分に締め付けてください。

- △※作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホース、肩掛バンドに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
- △※安全性を損なう恐れがありますので、付属のホース、コック、ノズルパイプ、噴口は他の用途（動力噴霧機での使用、コンプレッサでの使用等）には使用しないでください。
- △※破損の恐れがありますのでホースを、無理にねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。

2. 薬液の入れ方

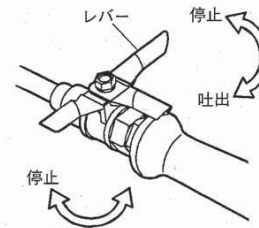
- ・ロートキャップを外し、ろ過器を通して、調合した薬液をタンクに入れます。
- △※薬液は他の容器で調合してください。やむを得ず薬液タンク内で調合する場合は、必ず最初に水を所要量の半分ほど入れてから農薬を入れ、残りの水を入れ希釈してください。また、薬液の調合は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。
- △※薬液を入れる前にコックは必ず停止の状態にしてください。
- △※薬液を入れたら、すぐにロートキャップを確実に締めてください。
- △※薬液を入れた状態でタンクを傾けると、薬液が漏れる場合があります。薬液タンクは傾けたり、落下させないでください。
- △※タンクに薬液充填後、自動車などで運搬する場合は、薬液が漏れる可能性がありますので、必ず本機を傾かない状態に固定してください。

3. 作業方法

1) コックの取り扱い

コックはレバーの向きにより吐出、停止を切り替えできます。

- △※作業中以外はレバーを停止の状態にしてください。



2) 噴霧作業

噴霧機を肩に掛け、コックを吐出の状態とし、ピストンを上下させるとノズルから霧が出ます。ピストンを早く上下させると多量の吐出となり、ピストンをゆっくり上下させると少量の吐出となります。噴霧の状態に合わせてピストンの動きを調整してください。

- △※コックを吐出の状態にするときは周囲の状況を充分確認してください。作業中以外はレバーを停止の状態にしてください。
- △※農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- △※作業中にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合には直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- △※コックを停止の状態が必要以上に加圧しないでください。
- △※加圧した状態で長時間放置しないでください。
- △※ハウス内では換気を行いながら作業してください。

使用後の手入れ

1. 各部の洗浄

- ⚠ ※けがをする恐れがありますので、タンクの中に手を入れないでください。
 - 1) タンク内の残液を払い、清水できれいに洗い流してください。
 - 2) 再度タンクに清水を入れコックを開いた状態でピストンを上下して、ホース、コック、ノズルパイプ、噴出口に残った薬液を洗い流してください。
- ⚠ ※ピストンの加圧操作を止めても空気室～ホース内に圧力が残っている場合があります。この状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態として、空気室～ホース内の圧力を抜いてください。
- ⚠ ※空気室内部に薬液が残っていると吸入弁、吐出弁球の固着の原因になりますので洗浄作業は充分に行ってください。
- ⚠ ※余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源池、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- ⚠ ※前回使用した薬液がタンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を充分に洗い流してください。また、タンク内に残った薬液はタンクを腐食させ薬液が漏れる原因にもなりますので、洗浄作業は充分に行ってください。

2. お手入れ

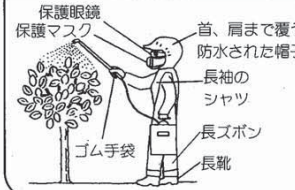
使用後は次の噴霧作業に備えて、ピストンの金属部、L型パッキンまたはワンパッキンに少量のエンジン油、またはギヤ油を塗布してください。

保管の仕方

保管は屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所にしてください。

※部品のプラスチック部分は、直射日光に長時間さらされると、著しく強度が低下する場合があります。また注意表示ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので保管には充分注意してください。

安全作業の服装



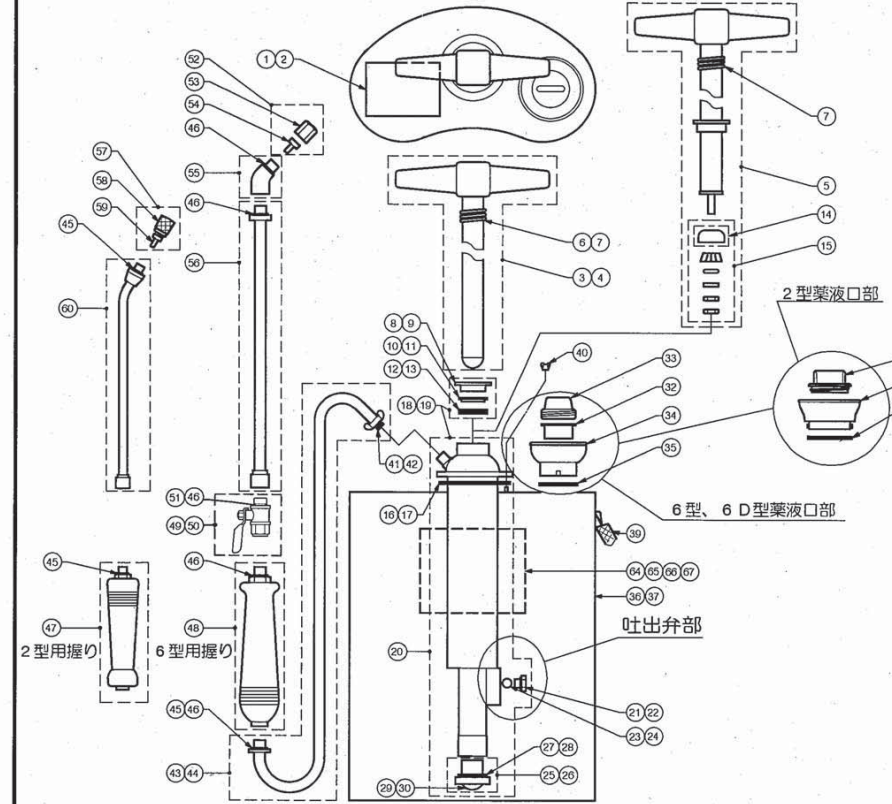
故障と修理方法

内容	原因	処置
ポンプの動きが悪い	●ピストン、L型パッキンまたはワンパッキンの油切れ	○ピストンの金属部、L型パッキンまたはワンパッキンに少量のエンジン油またはギヤ油を塗布する
ピストンが上らない	●吸入弁の固着	○吸入弁に軽い衝撃を加え吸入弁の固着を外す
ピストンが押し戻される	●吐出弁球の固着	○空気室の吐出弁部に軽い衝撃を加え吐出弁球の固着を外す
液の出が悪い	●吸入弁取り付けネジのゆるみ ●吸入弁へのゴミの付着 ●吐出弁球部へのゴミの付着 ●吸入弁、吐出弁球の摩耗、傷	○吸入弁を締め付ける ○吸入弁を外して洗浄する ○吐出弁プラグを外し、吐出弁球を取り出し洗浄する ○新品と交換する
グラウンドから液が漏れる	●グラウンドのゆるみ ●L型パッキンの劣化、老化	○グラウンドを締め付ける ○新品と交換する
各ネジ部からの液漏れ	●ネジのゆるみ ●パッキンの劣化、老化	○充分締め付ける ○新品と交換する
噴霧状態が悪い	●噴口キャップまたは中子へのゴミの付着	○噴口キャップ、中子を外して洗浄する
コックのレバー付近から液が漏れる	●Oリングの劣化、老化	○コックを新品と交換してください

- ⚠ ※けがをする恐れがありますので、タンクの中に手を入れないでください。
- ⚠ ※作業中噴出口を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので必ずコックを停止状態とし、噴出口を取り外してから行ってください。

※上記処置を行っても直らない場合、または上記以外の症状の場合は販売店にご相談ください。

分解図



肩掛噴霧機用部品 (適用欄 A:2型、B:6型、C:6D型及び6D型ワン皮式)

記号	名称	適用			記号	名称	適用							
		A	B	C			A	B	C					
1	注意表示ラベル小(6894357)				23	2型用弁球				47	2型用握り			
2	注意表示ラベル大(6894356)				24	6型、6D型用弁球				48	6型、6D型用握り			
3	2型用ピストン一式				25	2型用吸入弁一式				49	2型用コック			
4	6型、6D型用ピストン一式				26	6型、6D型用吸入弁一式				50	6型、6D型用コック			
5	6D型の皮式用ピストン一式				27	2型用吸入弁パッキン				51	2型用パッキン(13.8×8.0)			
6	2型用ピストンパネ				28	6型、6D型用吸入弁パッキン				52	6型、6D型用噴口中子付			
7	6型、6D型用ピストンパネ				29	2型用吸入弁アミ				53	6型、6D型用噴口キャップ			
8	2型用グラウンド				30	6型、6D型用吸入弁アミ				54	6型、6D型用中子			
9	6型、6D型用グラウンド				32	6型、6D型用コシ綿				55	6型、6D型用エルボ			
10	2型用L型パッキン				33	6型、6D型用コートキャップ				56	6型、6D型用ノズルパイプ			
11	6型、6D型用L型パッキン				34	6型、6D型用コート				57	2型用噴口中子付			
12	2型用台ゴムパッキン				35	6型、6D型用コートパッキン				58	2型用噴口キャップ			
13	6型、6D型用台ゴムパッキン				36	2型用タンク				59	2型用噴口中子			
14	6D型の皮式用ワンパッキン				37	6型、6D型用タンク				60	2型用ノズルパイプ			
15	6D型の皮式用ノズル部一式				39	肩掛バンド				61	2型用コートキャップ			
16	2型用空気室/パッキン				40	空気室蝶ナット				62	2型用コート			
17	6型、6D型用空気室/パッキン				41	2型用パッキン(8.5×5.0)				63	2型用コートパッキン			
18	2型用空気室一式				42	6型、6D型用パッキン(11.0×7.0)								
19	6型、6D型用空気室一式				43	2型用ホース金具付4.5×0.9mm				64	2型用ネームラベル			
20	6D型の皮式用空気室一式				44	6型、6D型用ホース金具付7.5×1mm				65	6型用ネームラベル			
21	2型用吐出弁プラグ(リング付)				45	2型用パッキン(11.5×8.0)				66	6D型用ネームラベル			
22	6型、6D型用吐出弁プラグ(リング付)				46	6型、6D型用パッキン(15.5×11.5)				67	6D型の皮式用ネームラベル			

※適用欄C中の●は6D型ワン皮式専用部品、○は6D型専用部品、○は左記両機種共通部品を示します。
※注意表示ラベル及びビネームラベルが見つからなかったり、はげたりした場合は必ず新品と交換してください。

ワン皮式噴霧機についてのお願い

ワン皮式噴霧機は保管中にワン皮に含ませた油がぬけ、皮が縮まり加圧を弱めたり水漏れをする事があります。

ご使用前にピストンを作動させ、圧力の掛りが弱い場合又水漏れをするようでしたら

- ①グランドを外し ②ピストンを引き抜き ③ワン皮部分に
- ④機械油を含ませた後(機械油7:グリス3でよく混ぜたものが良い)
- ⑤指でワン皮を広げてください⑥油がよく含んだのを確認して
- ⑦シリンダへ挿入し ⑧グランドを締め込んでください。
- ⑨シリンダへ挿入の際、ワン皮の先端が折れないよう注意してください。

尚、肩掛型噴霧機は吐出弁(弁球)が弁座に固着し、ピストンを作動させても吸水しない事があります。

チャンバ(ポンプ部分)をタンクより取り出し逆さまにし、手で軽くたたき弁を外してください。チャンバを振るとカラカラ音がする様でしたらOKです。